

## 大雪山国立公園表大雪地域 登山道関係者による春季情報交換会 概要

日時：平成 30 年 7 月 2 日（月）

13:00～14:20

場所：旭川地場産業振興センター

### 1. 開会

### 2. 挨拶

#### ■上川自然保護官事務所（榎）

- ・本情報交換会は、広大な大雪山で誰がどこでどのような活動をしているのか相互に共有することを目的とし、登山道関係者であればどなたでも出席できる場として開催している。これまでに各団体の概要は相互に把握されつつあると感じており、情報交換の場としての意味がより重要になると考えられる。そのため、気軽に話のできる雰囲気大切に大切に進めて参りたい。

### 3. 情報交換

#### (1) 各団体からの報告

- ・事前に各団体から提出のあった今年度の活動予定については資料 1 にとりまとめ、環境省東川自然保護官事務所より説明をおこなった。  
（出席した上富良野町、上川山岳会、富良野山岳会、大雪地区自然公園指導員連絡協議会、山岳ガイド協会表大雪地区連絡調整室、山樂舎 BEAR、山岳ガイド池永甦嗣氏から、事前の資料提供はなかった。）
- ・次に、資料 1 とは別に資料を提出した、上川総合振興局環境生活課、上川町、大雪山国立公園研究者ネットワーク、北海道大学大学院農学研究院愛甲准教授、山のトイレを考える会、北海道山岳整備、大雪山・山守隊、東川エコツーリズム推進協議会、層雲峡ビジターセンター、大雪と石狩の自然を守る会、NPO 法人 ezo rock より説明が行われた。
- ・資料に記載された内容の他に補足説明がなされた内容や資料提出がなかった団体からの発言は、以下のとおり。

#### ■上川総合振興局環境生活課

- ・黒岳トイレについて、昨年、固液を分離するマスを現地に置いているので、今年度中に特殊マスを便器から繋いで、固液を分離できるようにしたい。作業時に協力をお願いする場合がある。
- ・昨年ヘリが飛ばせずし尿がまだ下ろせていないが、なんとか策を考えてヘリコプターを飛ばして今あるし尿を下ろしたい。
- ・情報提供で、白雲避難小屋横に設置しているベンチの横が陥没している。愛山溪地区の村雨の滝の近くで事故があったが、警察の要請もあり当面の間、閉鎖している。

#### ■上川町

- ・大雪高原温泉に上川地区登山道等維持管理連絡協議会が携帯トイレ回収ボックスを 6 月 29 日に設置した。
- ・紅葉谷周辺及び旧層雲峡小学校のグラウンドを園地として整備することとし、今年度

実施設計、来年度から複数年かけて工事を行う予定。

#### ■北海道山岳整備、大雪山・山守隊

- ・裾合平残雪期ポールマーキングについて、農業用グラスファイバーポールは、雪との相性が良く、2m程度まで刺さりメンテナンスが容易なため、他の地域でも参考にしてほしい。出来れば、遭対協と協力して6月初旬にみんなで行い、登山者へ周知できればよいと考えている。
- ・先日おこった愛山溪地区の村雨の滝近くでの滑落事故は、情報提供が行われ、先に登山者がこの場所の状況を知ることができれば防ぐことができたと思う。愛山溪温泉を管理している(株)りんゆう観光にお願いして、愛山溪温泉の玄関口にホワイトボードを置いて情報提供が出来る掲示板を置くことになった。皆さんも、クマ情報や登山道が崩れている状況など書き込んでもらいたい。

#### ■東川エコツーリズム推進協議会

- ・大雪山愛護少年団で、一昨年から大雪山・山守隊の岡崎さんに協力いただいて、登山道整備を行っている。昨年は、裾合平で実施し、今年は、8月中旬を予定している。今後も経過を観察しつつ継続的に実施したいと考えている。

#### ■大雪と石狩の自然を守る会

- ・昨年45周年を迎えた。大人の自然教育としてひぐま大学を行っている。事前学習会を実施後、山へ登っている。何人もの目で登山道や自然を観察して気がついたことを共有しあっている。

#### ■公益社団法人日本山岳会北海道支部

- ・7月21日(土)層雲峡で日本山岳会全国支部懇談会を開き、22日(日)は黒岳～赤岳縦走80名位、黒岳往復70名位の2パーティに分かれて登山を行う。大人数での登山となるので、念のためお知らせする。

#### ■大雪山自然学校

- ・姿見の池園地の管理業務をやっており、2つ大きな課題がある。  
1つはカラスが3羽居着いており、展望台に来たお客さんのおにぎりを毎日5個くらい食べている。ロープウェイの駅舎の中にも入ってくるほど慣れていて、冬が来たらいなくなると思ったら、今年も来てしまった。登山者に着いて旭岳の山頂にもあがる。その原因で考えられるのは外国人の野生動物への餌やりで、食べ物が取られてしまうことがうまく伝えられない。2つ目はニュースにならない小さな道迷い。ロープウェイがあることで多くの外国人が来られているが、そこへの情報提供に大変苦勞している。日本語レクチャーの横に英語版紙芝居を置いてあるので、これは伝わっている印象があることと、登山者らしき人を見つけたら丁寧に声かけを行っている2点は効果があると感じる。
- ・「環境保全と人材育成を支援するファンディング事業」で多くのボランティアを受け入れているが、交通費などお金がかかるので、それらをサポートする寄付金を企業から集めることを進めている。

#### 4. 話題提供

##### (1) 歩道等維持管理マニュアルについて

#### ■上川自然保護官事務所(榎)

- ・経緯としては、昨年の6月に叩き台を出し皆さんにご意見を伺い、それを踏まえて修正した素案を昨年12月に説明をさせて頂いた。今回は、更にそのときの意見を踏まえて修正したものをお示しするもの。
- ・内容は、登山道の補修活動をする際にどのような実施手順で行えばよいのか示したものになる。この案を最終的なものにするために、今年度は試行として、マニュアルに沿って実際に計画書を作成し、中身を揉んで計画作成者にフィードバックして、現場で作業をしてそれを報告して頂く。
- ・その事例を作って頂いた方には、詳しくお話を伺って、やってみた上で、問題点・改善点があれば反映させていただき、今年度確定版にして早ければ来年度から運用したい。事例は多ければ多いほど、手順マニュアル自体が良いものになっていくので作業を実施される方は是非宜しくお願ひしたい。改めてメールなどで電子情報をお知らせしていく。

## 5. 閉会